

仕様

仕様は、商品改良のため予告なく変更することがあります。

電源電圧	交流100V	水道水圧	0.03~1MPa (0.3~10kgf/cm ²)
周波数	50/60Hz共通	洗浄方式	回転噴射ノズル方式
定格電流	9.8/10.2A (50/60Hz)	すすぎ方式	ためすすぎ
消費電力	洗浄モーター 160/200W(50/60Hz) ヒーター 820W 最大消費電力 980/1020W(50/60Hz)	乾燥方式	強制排気乾燥方式 (ヒーター間欠通電とファンによる送風)
外形寸法	(幅)446mm×(奥行)458mm×(高さ)484mm	標準食器容量	食器点数 30点 (まな板をセットした場合27点)
製品質量	17kg		

電源プラグを差し込んだ状態では、電源「切」の場合でも電子回路を動作させるため、約1Wの電力を消費しています。

お問い合わせ先

別添 大阪ガスのお問い合わせ先
をご参照願います。

大阪ガス株式会社

給湯タイプ 食器洗い乾燥機

品番 115-5044

取扱説明書

保証書別添付



大阪ガス

目次

1 食器点数 約30点 4人用

2 軽い汚れはすばやく洗う スピーディ&快速洗いコース

3 もうときれいに、もっと便利に 新水流&左右入替食器力ゴ



このたびは食器洗い乾燥機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
保証書は必ず記入事項を確かめて、販売店からお受け取りのうえ、この説明書とともに大切に保存してください。

上手に使って上手に節電

安全上のご注意	1~3
お問い合わせ	3
入れてはいけないもの	4
落ちない汚れ	4
各部のなまえ	5~6
・付属品	6
操作パネル部のなまえとはたらき	7~8

使いかた	9~10
コースの説明	11~12
所要時間の目安	13~14
各コースの操作手順	15~17
いろいろな運転のしかた	18
食器の入れかた	19~21

仕上がりが悪いと思われる場合

お手入れ

据え付け

異常表示

こんなときは故障ではありません

津波・停電・断水したとき

別売品

アフターサービスについて

仕様

ご使用の前に

使いかた

その他

安全上のご注意

必ずお守りください

*お読みになった後、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。

- ここに示した注意事項は、あなたや他人への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、次の表示で区分しています。

△ 警告

この表示の欄には、
人が死亡または重傷を負う可能性が想定される
内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は、「注意（警告）事項」を示します。
(左図の場合は、「一般注意」を示す。)

○ 記号は、「禁止事項」を示します。
(左図の場合は、「分解禁止」を示す。)

● 記号は、「強制事項」を示します。
(左図の場合は、「市源プラグをコンセントから抜く」を示す。)

● 内容をよく理解してから本文をお読みください。

△ 注意

この表示の欄には、
人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が
想定される内容を示しています。

△ 警告

お子様に注意する

子供だけで使わせたりしないでください。
やけど・感電・けがをする恐れがあります。

お子様が中へ入らないように注意してください。
また、使用後は必ずドアを閉めてください。中からドアは開きません。

運転中または、終了後30分間はヒーター・カバーに触れない

運転中または運転終了後
30分間は絶対にタンクや
ヒーター・ヒーター・カバー
に触れないでください。や
けどをする恐れがあります。

自分で絶対に分解や修理はしない

改造はしないでください。また、修理技術者以外の人は、分解や修理をしないでください。

火災・感電・けがの原因となります。
修理は、お買い上げの販売店またはもよ
りの大阪ガスにご相談ください。

本体への水や衝撃は禁物

水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート・感電の恐れがあります。

運転中は本体に衝撃を与えないでください。感電や漏電・ショートによる火災の
恐れがあります。

△ 警告

電源プラグの取り扱い

電格15A以上の専用コンセントを単独で使って下さい。他の器具と併用すると
分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



電源プラグの刃及び刃の取
り付け面にほこりが付着し
ている場合は、よくふいて
ご使用ください。
火災の原因になります。



電源コードや電源プラグが傷んだり、コ
ンセントの差し込みがゆるいときは使用
しないでください。

感電・ショート・発火の原因になります。

電源コードを傷付けたり、破損したり、
加工したり、無理に曲げたり、引っ張っ
たり、ねじったり、たばねたりしないで
ください。また、重い物を載せたり、挟
み込んだり、加工したりすると、電源コ
ードが破損し、火災・感電の原因となり
ます。

交流100V以外では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

アースは確実に取り付ける

故障や漏電のときに感電す
る恐れがあります。アースの取
り付けは、必ず電気工
事店または販売店にご相談
ください。



異常がある時は電源プラグを抜く

動かなくなったり、異常がある場合は、
事故防止のためすぐに電源プラグを抜い
ます。お買い上げの販売店に、必ず点検修
理をご依頼ください。感電や漏電・ショ
ートなどによる火災の恐れがあります。

お手入れは運転終了後30分以降にする

食器の取り出し、フィルタ
ーやヒーター・カバーの掃
除、お手入れは運転終了後
30分以上経過してから行
ってください。
やけどをする恐れあります。



火気や引火物を近付けない

火のついたローランク、蚊取
り線香、煙草などの火気や、
火気防止 接触発火の引火物を近付けな
いでください。
変形や火災の恐れあります。



安全上のご注意 (つづき)

△注意

高温水や湯気に注意する

運転中はドアを開けないでください。高温の湯気が出て、やけどをすることがあります。洗浄水や排水が高温になっており、手を触るとやけどをします。

排気口付近には近付かないでください。湯気、温風によりやけどをすることがあります。

長期間使用しない時は電源プラグを抜く

長期間使用しない時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

お願い

■ 内の数字は説明のあるページです。

他の湯(水)栓にも注意してください

●給湯器を高温に設定し食器洗い乾燥機をご使用される場合、他の湯(水)栓からも高温のお湯が出ることがありますので、注意してください。

70℃より高温のお湯は使わないでください

●70℃より高温のお湯が供給される湯(水)栓は接続しないでください。
マンション等集合住宅の排水管(横引枝管)が耐熱仕様でない場合は、水管側に接続してください。

専用洗剤以外は使わないでください

●一般的の台所用洗剤を使用すると泡が異常に発生し、運転できません。
※専用洗剤は、お近くの販売店でお買い求めください。

29 別売品 参照

ラッチの穴に物を入れないでください

●ラッチの穴には指や物を差し込まないでください。故障、事故の原因になります。

排気口はふさがないでください

●乾燥が不十分になりますので、排気口はふさがないでください。

入れてはいけないもの ■ 内の数字は説明のあるページです。

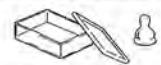
プラスチック容器などの軽くて小さい食器

●洗浄水で飛ばされ下に落ちる場合があります。
●ヒーターの上に落ちた場合、ヒーターの熱で変色したり、焦げたような臭気がしたりするので注意してください。発煙や故障の原因となります。



耐熱90℃以下の樹脂製のもの(耐熱表示のないものも含む)・は乳瓶の乳首など小さくて袋状のもの

●変形します。
※まな板の耐熱温度に関しては 19 まな板の場合 参照



ふきん・スポンジなど

●食器および調理器具以外は入れないでください。
●発火、発煙の恐れがあります。



クリスタルグラス・カットグラス・強化ガラス

●クリスタルグラスは、表面が浸食され白くになります。
●カットグラス、強化ガラスは水温変化で割れることがあります。
※乾燥のみでの使用は可能です。

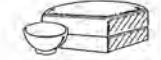


びん・徳利などの食器・ひびの入った食器 漆塗り食器・重箱・金箔入りの食器・木製の食器

●口の小さいものは、中が洗えません。
●ひびが入った食器は割れる恐れがあります。



はがれる恐れがあります。



銀製・洋銀製食器など

●金色にかわり、その後黒く変色します。



アルミ製の鍋や食器

●白くなり、その後灰色に変色します。



落ちない汚れ

●手洗いでも落としにくい汚れは、そのまま入れてもきれいに洗えません。
ごすり落としてから入れるか、手洗いしてください。

《例》



グラタンの
こげつき



茶わん蒸しなど
のがんこな汚れ



鍋の焼けこげ



口紅の汚れ



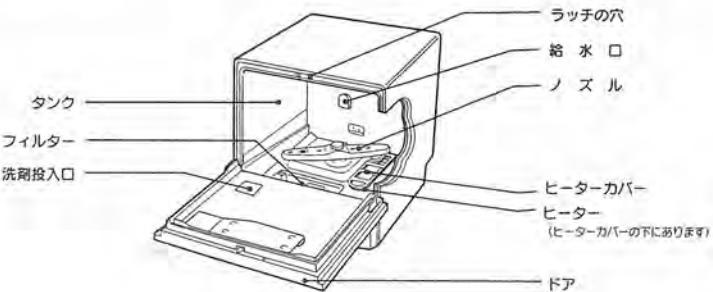
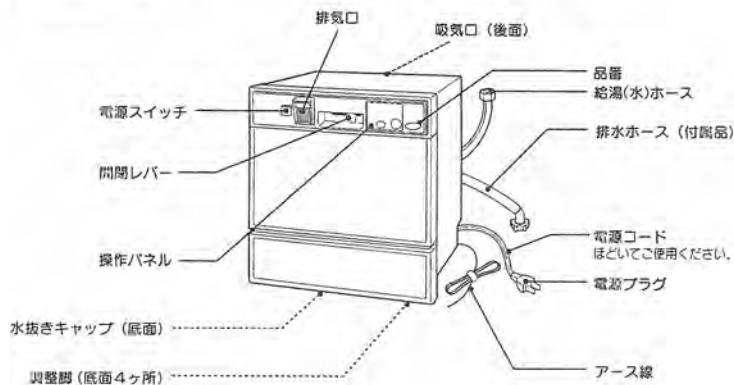
レモン汁をかけた
さしみの盛

各部のなまえ

前 面

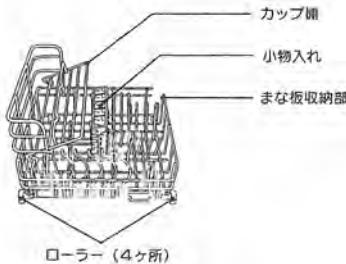
庫 内

(-----:図には描かれていません。)



ご使用の前に

カ ゴ



操作パネル部のなまえとはたらき

電源スイッチ

押すと「入」になり、もう一度押すと「切」になります。

オートオフ機能

スタートせずに放置していると10分後に「切」になります。

運転終了後自動的に「切」になります。
「カラッと仕上げ」を行わない場合は、運転終了後10分間、開欠送風運転を行った後に「切」になります。

電源プラグを差し込んだ状態では、電源「切」の場合でも電子回路を動作させるため、約1Wの電力を消費しています。



カラッと仕上げ

乾燥行程後の食器や庫内の結露を防ぐため、間欠送風運転を約60分行います。(ヒーターは入ません。)

乾燥行程終了後、自動的に行います。(尚欠音がしますが、異常ではありません。)

「カラッと仕上げ」は取り消すこともできます。

⑧ 「カラッと仕上げ」の変更 参照

「カラッと仕上げ」の中は「スタート/一時停止」ボタンは受け付けません。ドアを開けると一時停止状態となり、ドアを閉じるとスタートします。

「カラッと仕上げ」中に乾燥を止める場合は、電源スイッチを「切」してください。

「カラッと仕上げ」中にドアを10分以上開けていると、自動的に電源スイッチが「切」になります。



「コース」ボタン

食器の汚れ具合、洗いかたに応じて押します。

「高温」コース：しつこい油汚れや、食事のあと時間がたった汚れを洗うとき

「標準」コース：食事のあとすぐ洗うとき
(普通の汚れのとき)

「スピーディ」コース：軽い汚れを短時間で洗うとき

「快速洗い」コース：軽い汚れ(パン食など)、つけおきした食器、また軽くすすぐいた食器を洗うとき

「乾燥60分」コース：手洗いした食器を乾燥するとき、食器をあたためるとき

運転中、「乾燥60分」・「カラッと仕上げ」を変更するときに押します。

⑧ 「コース」の変更 参照

⑧ 「乾燥60分」・「カラッと仕上げ」の変更 参照

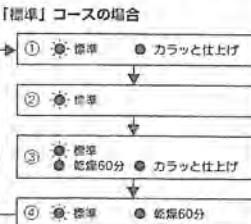
「コース」の変更

スタート前に「コース」ボタンを押すと、ランプが下記のように変わります。
(ランプ点灯部のみ表示しています。)



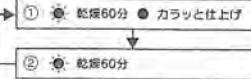
「乾燥60分」の変更 「カラッと仕上げ」の変更

スタート後に「コース」ボタンを押すと、「乾燥60分」と「カラッと仕上げ」の変更ができます。
ランプが下記のように変わります。
(ランプ点灯部のみ表示しています。)



※「高温」「スピーディ」「快速洗い」コースの場合も「標準」コースと同様に変更できます。

「乾燥60分」コースの場合



「コース」ボタンを押しまちがえてスタートした場合

電源スイッチを「切」にしてもう一度やりなおしてください。

「コース」の記憶について

(電源スイッチを「切」にしても記憶しています。)

「標準」「スピーディ」「快速洗い」「高温」コースを運転すると自動的にコースを記憶します。

次回電源スイッチを「入」にすると前回使用した運転コースが表示され「スタート/一時停止」ボタンを押すだけでワンタッチスタートができます。

※「乾燥60分」コースを運転した場合はコースを記憶しません。横浜の設定(標準コース)に戻ります。

使いかた

■ 内の数字は説明のあるページです。

運転前の準備

- アース線が接続されているか確認する。
- 湯(水)栓が開いているか確認する。
- 電源プラグがコンセントに差し込まれているか確認する。

25 ~ 26 据え付け 参照

※湯(水)栓を開け忘れたる運転しません。但し、「乾燥60分」コースはのぞきます。
※給湯器の電源が入っていることを確認し、給湯温度70℃以下の設定にしでお使いください。

給湯温度の設定は60℃をおすすめします。

給湯温度が低いと所要時間が長くなります。

給湯温度が70℃より高い時は、運転途中で止まることがあります。

※扉内の後面に給水口が付いているか確認する。

外れていた場合、給水口ナットの溝に沿わせて奥まで差し込み下向きにセットしてください。(右図参照)



食器を入れる前に

- フィルターが正しくセットされているか確認する。
※フィルターを正しくセットしないと故障の原因になります。



- 食器の残菜(食べ残し)を取り除く。

ひどい油のかたまり、ごはん粒、わかめ、かつおぶし、魚の骨、つまようじ、輪ゴムなどは取り除いてください。

ケチャップやトマトジュースの汚れは、あらかじめ落としてください。ドアやタンク及びカゴに色うつりすることがあります。

※入れてはいけないものや、落ちない汚れがあります。

4 入れてはいけないもの、落ちない汚れ 参照



運転後のあとしまつ

- フィルターを取り出す。
(残菜を扉内に落とさないように注意してください。)
- たまたま残菜を捨て、フィルターを洗う。
※下部フィルターにゴミがたまたま場合は取り除いてください。
23 下部フィルターのお手入れ 参照
- フィルターをもとどおり排水口部にセットする。



※フィルターを洗わないと目づまりして正常な運転ができなくなる場合があります。
※ヒーターカバーに汚れが付着した場合は、取り除いてください。

24 ヒーターカバーのお手入れ 参照

※下部フィルターの下に残水がありますが異常ではありません。

※終了後は、給湯器の給湯温度設定をふたんお使いの温度に設定し直してください。

※食器の取り出し・フィルターの掃除・お手入れなどの後ドアを開めたときは、必ず開閉レバーを「とじる」の位置に合わせてドアを開かないようにしてください。

警告

- 運転終了直後はフィルター・フィルター取っ手・ヒーターカバー・ヒーターの表面が熱くなっています。
- 30分
給湯後に
食器の取り出し・フィルターの掃除・お手入れは運転終了後、30分以上たって扉内が冷えてから行ってください。
- やけどをする恐れがあります。

コースの説明

■ 内の数字は説明のあるページです。

下記のコースでは、スタート直後に約1分間の準備行程を行います。（「乾燥60分」コースはのぞみます。）
■ 準備行程について 参照

標準コース 食事のあとすぐ洗うとき（普通の汚れのとき）

洗い → すすぎ2回または3回 → 加熱すすぎ → 乾燥 → カラッと仕上げ
(約60℃) (約70℃) (20分)

※すすぎ2回目終了後の湯(水)温が約42℃以下の場合、すすぎが3回になります。

快速洗いコース 軽い汚れ（パン食など）、つけおきした食器、または軽くすすぐいだ食器を洗うとき

洗いからすすぎまでを約10分で行う高速洗浄コースです。
ちょっとした洗い物に便利です。

（乾燥行程を含むと約25分になります。）

※洗い行程をスタートしてから2分後の湯(水)温が約42℃以下の場合、
洗い時間が約3分長くなります。

スピーディコース 軽い汚れを短時間で洗うとき

洗い → すすぎ1回 → 加熱すすぎ → 乾燥 → カラッと仕上げ
(約52℃) (約65℃) (15分)

※加熱すすぎの温度が低く、乾燥時間が短いため、乾燥終了後多少水滴が残る場合があります。

高温コース しつこい油汚れや、食事のあと時間がたった汚れを洗うとき

洗い → すすぎ3回 → 加熱すすぎ → 乾燥 → カラッと仕上げ
(約60℃) (約80℃) (20分)

※「標準」コースより、洗いを約10分間長く行います。

乾燥60分コース 手洗いした食器を乾燥するとき、食器をあたためるとき

乾燥 → カラッと仕上げ
(60分)

※最初に排水を約1分間行います。その後、乾燥行程を行います。（洗い、すすぎ行程は含みません。）

洗い → すすぎ1回 → 加熱すすぎ → 乾燥 → カラッと仕上げ
(約30~50℃) (約40~60℃) (15分)

※加熱すすぎは、約1分で終了します。

乾燥まできっちり行う場合は乾燥60分をおすすめします。

給湯(水)温が低い場合、乾燥15分終了後多少水滴が残る場合があります。

※油汚れ等のしつこい汚れは、残る場合がありますので、他コースの使用をおすすめします。
ただし、スポンジ等で汚れを取る、お湯にしばらくつけておく等の前処理をすればこのコースでもご利用いただけます。

※短時間で食器の洗浄を行いますので、給湯器の設定温度は60℃にしてお使いいただくことをおすすめします。

※加熱すすぎ終了後、ブザーが2回鳴ってすすぎ終了をお知らせします。

（快速洗いコース以外のコース連続では、加熱すすぎ終了後のブザーは鳴りません。）

その後続けて乾燥行程を行いますので、省きたい場合は電源スイッチを「切」にしてください。

使いかた

所要時間の目安

■ 内の数字は説明のあるページです。

- 下表の所要時間は、給水圧0.3MPa (3kgf/cm²)、室温20°C、給湯温度60°Cの場合の目安です。
(所要時間は水圧、湯(水)温、室温、給湯(水)能力によって変わります。)
- 下表の所要時間には、「洗い」「すすぎ」とともに、給・排水行程を含みます。
- 下表の所要時間には、「カラッと仕上げ」の時間(約60分)は含みません。
- 湯(水)温が低い場合、所要時間が長くなります。

コース	所要時間	所要時間の内訳				操作手順 のページ
		準備	洗い	すすぎ	乾燥	
		1分	12分	18分	20分	15
標準	約51分	1分	12分	18分	20分	15 5 16
スピーディ	約30分	1分	7分	7分	15分	15 5 16
快速洗い	約25分	1分	5分	4分	15分	15 5 16
高温	約85分	1分	22分	42分	20分	15 5 16
乾燥60分	約60分				60分	17

※標準コースのすすぎ2回目終了後の湯(水)温が約42°C以下の場合、すすぎの3回目を行います。

準備行程について

- 「乾燥60分」コース以外、スタート直後に準備行程を行います。
- 準備行程は、庫内や給湯配管内にたまつた冷たい水を排水し、洗浄開始から最適な給湯温度で食器の洗浄を行うために約1分間の給・排水を行います。
- 準備行程は取り消すこともできます。

10 準備行程を取り消したい場合 参照

乾燥60分について

- 冬場など、食器が乾きにくい場合は、「乾燥60分」を設定してください。
- 10 「乾燥60分」の変更 参照
- 「乾燥60分」を設定すると、所要時間は左表より、「標準」「高温」コースで約40分、「スピーディ」「快速洗い」コースで約45分長くなります。

排水について

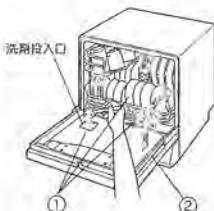
- 排水のみを行いたいときは、「コース」ボタンで「乾燥60分」を選んで運転してください。スタート後、約1分で排水は完了しますので、必ず電源スイッチを「切」にしてください。
- 電源スイッチを切り忘れた場合は、続けて残り時間の乾燥運転を行います。
- 排水終了後、下部フィルターの下に残水がありますが、異常ではありません。

使いかた

各コースの操作手順

■ 内の数字は説明のあるページです。

標準 準スピーディ 快速洗い 高温 コース

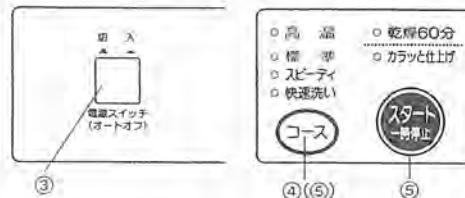


湯(水)栓が開いているか確認してください。

- ① 残菜を捨てて、食器をカゴにセットし、専用洗剤を洗剤投入口に入れる
(洗剤は専用洗剤の計量スプーン一杯分(約4.5g)入れてください。
(油汚れの多い場合は、洗剤を多め(一杯半~二杯)入れてください。)
※洗剤投入口に必ず入れてください。それ以外の所へ入れると準備行程中に洗剤が流れ出てしまします。

- ② ドアを静かに閉め、開閉レバーを必ず「とじる」の位置に合わせる
(開閉レバーを「とじる」の位置にしたままドアを閉めないでください。
※ドアを強く閉めると庫内に洗剤がこぼれ落ちる恐れがあります。

- ③ 電源スイッチを「入」にする
(給湯接続の場合)
・給湯器の運転スイッチを入れます。
※運転ランプの点灯または種火がついているかを確認してください。
・給湯器の給湯温度を設定します。
※給湯温度の設定は60℃をおすすめします。給湯温度が低いと、所要時間が長くなります。
※給湯器を高温に設定し食器洗い乾燥機をご使用される場合、他の湯(水)栓からも高温のお湯が出ることがありますので、注意してください。



- ④ コースを選択する

「コース」ボタンを押し、おこのみのコースに合わせる。⑧「コース」の変更 参照

- ⑤ 「スタート/一時停止」ボタンを押す

スタート後に「乾燥60分」に変更するとき、または「カラッと仕上げ」を行わないときは「コース」ボタンを押して変更します。

⑧「乾燥60分」「カラッと仕上げ」の変更 参照

〈「快速洗い」コースを選択した場合〉

※加熱すぎ終了後、ブザーが2回鳴ってすぐ終了をお知らせします。その後、続けて乾燥を行います。

↓
ブザーが3回鳴ったら運転終了(その後「カラッと仕上げ」に入ります。)

- ・「カラッと仕上げ」中は、「カラッと仕上げ」ランプのみ点灯します。
- ・「カラッと仕上げ」終了後は、オートオフ機能により電源が「切」になります。
- ・「カラッと仕上げ」を設定していない場合、運転終了後の「カラッと仕上げ」は行いません。

フィルターのあとしまつをする(30分以上たって庫内が冷えてから行ってください。)

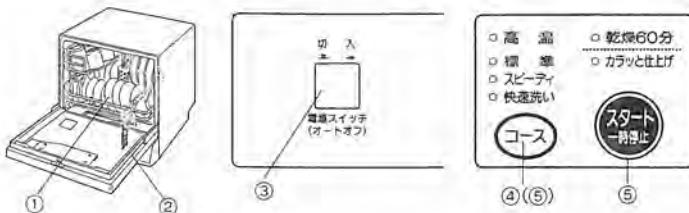
⑩ 運転後のあとしまつ 参照

各コースの操作手順(つづき)

■ 内の数字は説明のあるページです。

乾燥60分 コース

手洗いした食器を乾燥するとき
食器をあたためるとき



- ① 食器をカゴにセットする (洗剤は入れないでください。)
- ② ドアを閉め、開閉レバーを「とじる」の位置に合わせる
(開閉レバーを「とじる」の位置にしたままドアを閉めないでください。)
- ③ 電源スイッチを「入」にする
- ④ 「コース」ボタンを押し、「乾燥60分」コースを選ぶ
[8] 「コース」の変更 参照
- ⑤ 「スタート/一時停止」ボタンを押す
「カラッと仕上げ」を行わないときは、スタート後に「コース」ボタンを押して変更します。
↓
ブザーが3回鳴ったら運転終了 (その後「カラッと仕上げ」に入ります。)
 - 「カラッと仕上げ」中は、「カラッと仕上げ」ランプのみ点灯します。
 - 「カラッと仕上げ」終了後は、オートオフ機能により電源が「切」になります。
 - 「カラッと仕上げ」を設定していない場合、運転終了後の「カラッと仕上げ」は行いません。

いろいろな運転のしかた

※ブレーカーを切ったり、停電及び電源プラグを抜くと下記の設定はすべて解除され購入時の設定(標準コース)に戻ります。

終了ブザー音を消したい場合

- 電源スイッチを「入」の状態で「スタート/一時停止」ボタンを4秒間押し続けると、受付完了のブザー音が「ピー」と鳴り、終了ブザー音が鳴らない状態になります。
(スタート前及び運転中いつでも受け付けます。ただし、運転中に行なうと一時停止状態になりますので、その際は「スタート/一時停止」ボタンを押し、再スタートしてください。)



- 再び終了ブザー音を鳴らす状態にするには、同じ操作を行なってください。受付完了のブザーが「ピッ」と鳴り、終了ブザー音が鳴る状態になります。



※電源スイッチを「切」にしても記憶しています。

準備行程を取り消したい場合

- 電源スイッチを「入」の状態で、スタート前に「コース」ボタンを4秒間押し続けると受付完了のブザー音が「ピー」と鳴り「準備行程」を行わない状態になります。



- 再び「準備行程」を行いたい場合は、同じ操作を行なってください。受付完了のブザーが「ピッ」と鳴り「準備行程」を行なう状態になります。
(給湯接続の場合、準備行程を取り消すと運転時間が長くなります。)



※電源スイッチを「切」にしても記憶しています。

使いかた

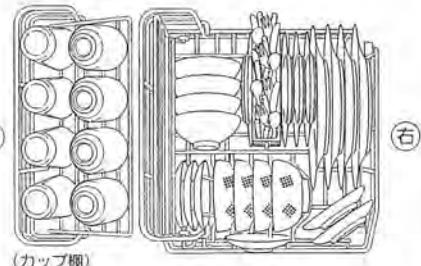
食器の入れかた

標準的な食器のセット例

4人用のセット例

(4人用のセット例)

茶 わん	4点
吸物わん	4点
大 皿	4点
中 皿	4点
小 皿	6点
湯 のみ	4点
コ ッ プ	4点
小物	は し ス ピ ツ フ ォ ー ク ナ イ フ



- ※食器の形状によっては、所定の場所に入らない場合があります。
- ※カゴは左右どちら向きに入れてもご使用になります。
- ※食器が重ならないようにそろえて入れてください。
- ※重なっている部分は、噴射水が十分にあたらぬいため洗えません。

さいばし・まな板の場合

さいばしの場合

- カゴを出し入れするとき、さいばしが折れことがありますので、カゴの手崩部分に横にはみ出さないように覆かせて洗いてください。

まな板の場合

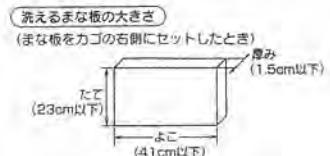
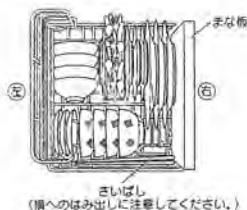
- まな板は汚れのひどい側を中央に向けてください。
- まな板を入れた場合、セットできる食器は約27点になります。

(洗えるまな板の大きさ)

- まな板をカゴの右側にセットしたとき (右図参照ください)。
(たて23cm以下×よこ41cm以下×厚み1.5cm以下)
- カゴに逆入れした場合、入るまな板の寸法が小さくなります。
(たて23cm以下×よこ32cm以下×厚み1.5cm以下)

(お願い)

- 木製まな板はキズの奥に入り込んだ汚れが洗えない場合があります。プラスチック製まな板をご使用ください。
- プラスチック製まな板は耐熱温度70℃以上のものをお使いください。
- また、乾燥後しばらくは熱により変形しやすくなっています。取り扱いには十分注意してください。

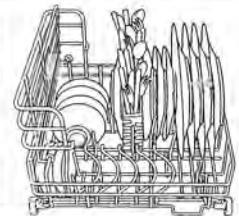


4人用食器の入れ方 (食器は内面が矢印方向に向くようにセットしてください。)

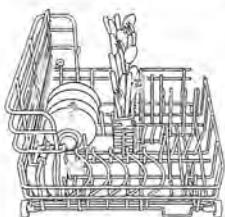
1 はしは汚れた方を下に、他の小物は汚れた方を上にして入れる



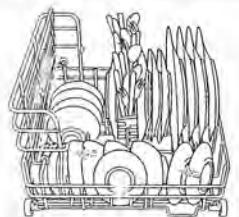
4 大皿を入れる



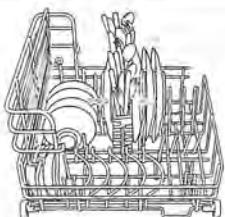
2 カップ棚を上げて、その下に小皿・茶わんを入れる



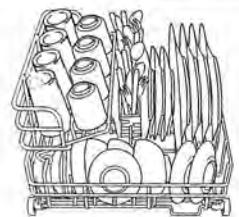
5 吸物わん・小皿を入れる



3 中皿を入れる



6 カップ棚をおろしてコップ、湯のみをおく

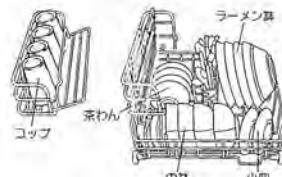


使いかた

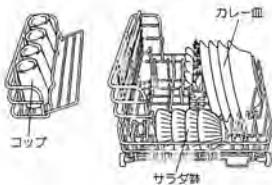
食器の入れかた (つづき)

いろいろな食器のセット例

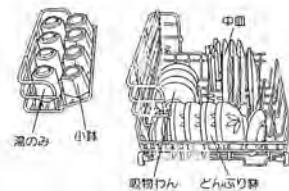
ラーメン鉢の場合



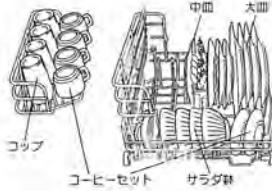
カレー皿の場合



どんぶり鉢の場合



モーニングセットの場合



※形状によっては、所定の場所に入らない場合があります。

お願い

カゴの保護膜を傷つけると、サビ発生の原因となるので、鋭利な部分のある調理器具などは、鋭利な部分が保護膜にあたらないようにセットしてください。

仕上がりが悪いと思われる場合

食器の糸底部に水が残る場合

- 食器の形状やセットのしかたによっては運転終了後、糸底部に水が少し残ることがあります。異常ではありません。



ガラス食器に薄い水滴のあとが残る場合

- 水に含まれているミネラル分のため、洗剤やすすぎ不足によるものではありません。
- 水質硬度の高い地域では洗剤を多め（一杯半～二杯）入れてください。



洗えていないものがある場合

- 食器や小物が重なりすぎていませんか。
- 小物や食器の一部がカゴからみだして、ノズルの回転を止めています。



庫内に水滴が残る場合

- 運転終了後に庫内の天井やドアの内側に水滴が残ることがあります。これは庫内の結露現象によるもので、異常ではありません。
- 「カットと仕上げ」を使用すると、結露現象による水滴の付着が防げます。



食器が黄色く、または薄黒くなっている場合

- 水に含まれている鉄分や茶しぶなどのためです。ときどきは食器をこすって洗ってください。



ガラス食器類が白くくもる場合

- 表面に小さな傷のついたガラス食器類を高温の洗浄水で洗うと、浸食が進み白くくもることがあります。
- このような場合は、「高温」コースの設定をせずにご使用されることをおすすめします。

その他仕上がりが悪い場合

- 食器の汚れた面が上向きになってしまいませんか。
- 食器のこげつきや、こびりついた汚れは前もってよく落としてから入れましたか。
- むりな入れ方をしていませんか。
- コースの選択は適切でしたか。
- フィルターを正しくセットしていますか。
- 洗剤を入れ忘れていませんか。
- 専用洗剤以外の洗剤を使用していませんか。
- フィルターが目づまりしていませんか。

使いかた

その他

お手入れ

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜き、庫内が冷えてから行ってください。運転終了直後は底にあるヒーター及びヒーターカバーが高温のため、触るとやけどをする恐れがあります。

■ 内の数字は説明のあるページです。

本体のお手入れ

本体表面は、よく絞ったやわらかい布で汚れをふいてください。

- 汚れがひどいときは、台所用洗剤をしみ込ませてふいてください。
- ベンジン、シンナー、クレンザー、ワックスなどの使用はやめてください。(塗装面やプラスチック部を傷めます。)
- 排気口にゴミがつまつたときは、掃除機などで掃除してください。ドアやタンクの内面は、やわらかい布でていねいにふいてください。
- においや庫内の汚れが気になるときは、専用洗剤を使用し、食器を入れずに空運転してください。(カゴは入れて運転してください。)



下部フィルターのお手入れ

再汚染防止のために二重フィルター構造を採用しています。

- 下部フィルターが目づまりした場合には、ネジをプラスドライバーではずし、下部フィルターを取り出して、たまたま残菜をきれいに取り除いてください。
- 異物がつまつたままの状態ですと、ノズルからの水の出が悪くなり、洗えない場合があります。
- 下部フィルターをはずしたとき、底部に残水がありますが異常ではありません。
- ※下部フィルターを取り付けるとき、ネジを締めすぎないようにしてください。



ノズルのお手入れ

- ノズルの穴に異物がつまつた場合は、つぎの手順でお手入れしてください。

- ①ナットを左に回してはずし、ノズルを取り出す。
- ②ノズルの裏側から水を勢いよく入れ、異物をきれいに落とす。(水洗いでとれない場合は、つまようじ等でとってください。)
- ③取りはずした部品は、もとの位置に正しくセットする。
- ※取り付け後、ノズルが手で軽く回ることを確認してください。



ヒーター カバーのお手入れ

- ヒーターカバーにゴミが付着した場合は取り除いてください。(ただし運転終了後30分以降に行ってください。やけどをする恐れがあります。)
- ヒーターカバーのお手入れのとき、ヒーターカバーを変形させないでください。(変形させるとノズルにあたりノズルが回転しなくなる原因になります。)

長期間使用しない場合

- カゴから食器を取り出してください。
 - 漏(水)栓は必ず閉めてください。万一の水もれを防止するためです。
 - フィルター及び下部フィルターにたまたま残菜をきれいに取り除いてください。
 - 次にお使いになるときは、専用洗剤を使用し、食器を入れずに「スピーディ」コースで空運転してからお使いください。(カゴは入れて運転してください。)
- ※寒冷地の別荘などで冬間ご使用にならない場合、お買い上げの販売店にご相談ください。(水抜きが必要です。水抜きしないと凍結により、配管や給湯路部品などの破損の原因になります。)

据え付け

- ご使用前にお確かめください。
- 据え付け工事に関するものは、工事された販売店にご相談ください。

■ 内の数字は説明のあるページです。

※本体やカゴに貼ってあるテープや緩衝材などは、全部取りはずしてください。

給湯器又は水道の水圧について

- 給湯器又は水道の水圧は、0.03MPa(0.3kgf/cm²)以上、1MPa(10kgf/cm²)以下です。水圧が低すぎると給湯(水)に時間がかかり、運転時間が長くなります。
- 給湯器の種類により、お湯が供給されないことがあります。
- 10号以上の先止め式給湯器に接続してください。元止め式の湯沸器には絶対に接続しないでください。

給湯の確認

- 70°Cより高温のお湯が供給される湯(水)栓には接続しないでください。

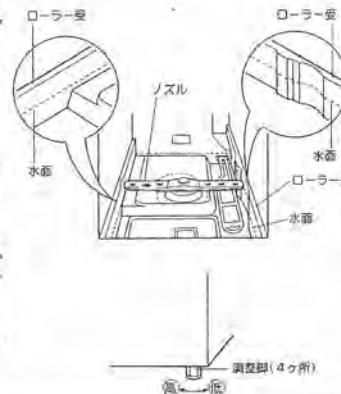
排水ホースについて

- 排水ホースが途中で折れ曲がっていないか確認してください。
途中で折れ曲がっていると、排水できなくなります。

ホースの接続位置を変えて、折れ曲がりのないように調整してください。

水平設置について

- ①「快速洗い」コースを運転し、洗浄が始まったら「スタート/一時停止」ボタンを押し、ドアを開けてください。



- ②水面がタンク左右のローラー受と平行かつ同じ高さの位置になっているか確認してください。

- ③平行になっていない場合は、電源プラグをコンセントから抜き本体を持ち上げ、調整脚の高さを調整し、平行にしてください。

※右に回すと低く、左に回すと高くなります。
がたつきがありますと、ドアの開閉がスムーズにいかない場合があります。

- ④水平確認が終わったら電源プラグをコンセントに差し込み排水してください。

■ 排水について 参照

電源について

⚠ 警告

- 交流100V、15A以上の専用コンセントをご使用ください。
火災の原因となりますのでタコ足配線は絶対にしないでください。

電気工事は、すべて電気設備基準に準じて行ってください。



アースについて

※アース工事費は、有料です。

⚠ 警告

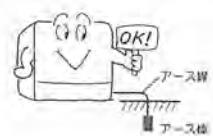
- 万一の感電防止のため、必ずアースをしてください。また、アースのほか漏電ブレーカー(定格電流20A・感度電流30mA)の取り付けをおすすめします。(詳しくはお買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。)
※アースの付けはしきは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

コンセント部にアース端子がある場合



アースの先端を確実にアース端子に取り付けてください。

コンセント部にアース端子がない場合



※D種接地工事(第3種接地工事)が必要ですので販売店にご相談ください。
(アース工事は電気工事の有資格者が行うよう法令で定められています)

次のような場所にはアース線を絶対に取り付けないでください。
(法令などで禁止されています)
●ガス管……爆発や引火の危険があります。
●電話線や避雷針……落雷のとき危険です。
●水道管……途中より塙ビ管になっているところが多いため避けしてください。

その他

異常表示

●ランプの点滅とブザーでお知らせします。(16回の連続ブザー音が5分間隔で鳴ります。)
点滅表示が出たときは、下表の処置を行ってください。その後、最初から操作をやり直してください。

表示部	症 状	点検・処置のしかた
「表示なし」 (コースランプがすべて消えている場合)	<ul style="list-style-type: none"> ●全然運転しない ●電源スイッチが「切」の状態で排水ポンプが動作している 	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグが確実に差し込まれていますか？ ●電源スイッチを入れましたか？ ●電源ヒューズやブレーカーが切れていませんか？ ●停電していませんか？ 29 「停電したとき」 参照 ●修理が必要です。 電源スイッチが「切」の状態であっても給湯(水)異常を検知した場合は、水もれを防ぐため自動的に排水ポンプが動作します。 必ず湯(水)栓を閉じ電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
「表示あり」 (コースランプが点灯している場合)	●全然運転しない	<ul style="list-style-type: none"> ●「スタート／一時停止」ボタンを押しましたか？ ●ドアの開閉レバーを「とじる」の位置に合わせましたか？
「標準」コースランプが点滅	●水が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●湯(水)栓を開いていますか？ ●湯(水)栓は開いているが、水の出が悪い時。 -給湯(水)配管と本体の給湯(水)ホースの間のフィルターを点検してください。 -このフィルターは、給湯(水)配管内のゴミ等を取る本体の保証用です。必ず元どおり取り付けて、接続部からの水もれがないか確認してください。 -点検するときは必ず湯(水)栓を閉じてから行ってください。 <p>本体の給湯(水)ホース 給湯(水)配管 フィルター</p>
「高温」コースランプが点滅	●ドアを開けても水が出てづけている	<ul style="list-style-type: none"> ●給湯(水)が止らない場合。 必ず湯(水)栓を閉じ電源プラグを抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼してください。

■ 内の数字は説明のあるページです。

表示部	症 状	点検・処置のしかた
高温・標準・スピーディ・快速洗い・乾燥60分の5つのコースランプが点滅	●排水されない	<ul style="list-style-type: none"> ●フィルターに残菜がたまつて、目づまりしていませんか？ 10 「運転後のあとしまつ」 参照 ●排水ホースが折れ曲がったり、つまつたりしていませんか？
その他	●上記以外の症状	<ul style="list-style-type: none"> ●修理が必要です。 表示内容を確認して必ず湯(水)栓を閉じ、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店へ修理を依頼してください。 ●修理が必要な項目以外でも点検・処置をして症状が改善されない場合は、必ず湯(水)栓を閉じ、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。 (この時、どのランプが点滅していたかを控え、修理依頼時にお伝えください。) ●ご家庭での修理は危険ですからやめてください。

こんなときは故障ではありません

状 態	理 由
電源を「入」にし、「スタート／一時停止」ボタンを押すとすぐに排水をはじめる	<p>本機が正常に運転するように庫内に残った水を排水する動作です。この排水動作は、以下のことが起こった後、再び運転するときに行われます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●停電やブレーカーの作動後。 ●異常の検出や電源「切」による中断後。 ●電源プラグを抜き差しした後。
「乾燥60分」コース以外のコースがスタートすると給湯(水)したあと、すぐに排水をはじめる	<ul style="list-style-type: none"> ●洗浄開始から、屋内の給湯温度で食器の洗浄を行うために、給湯配管内にたまつた冷たい水を排水します。14 「準備行程について」 参照
洗浄時間が長い	<ul style="list-style-type: none"> ●給湯温度が低くありませんか？ 給湯器の電源、温度設定を確認してください。 ●準備行程を取り消していませんか？ 18 「準備行程を取り消したい場合」 参照 ●給水接続の場合は、所要時間が長くなります。

凍結・停電・断水したとき

凍結	①電源スイッチを「切」にします。 ②タンク内に70°Cくらいのお湯を約3L(ヒーターがかかる程度)入れ、解凍してください。 ③解凍後、電源スイッチを「入」にし、「快速洗い」コースで運転できることを確認してください。
停電	①電源スイッチを「切」にします。 ②停電が回復したら、はじめから操作をやり直してください。
断水	①電源スイッチを「切」にします。 ②断水が回復してから使用する場合は、まず他の蛇口からにこった水を流してから運転を開始してください。

別売品

お求めの際は、お買い上げの販売店またはもよりの大坂ガスにご連絡ください。

専用洗剤



必ず食器洗い乾燥機専用洗剤をご使用ください。

- ・デンブン質やタンパク質に強い酵素配合。
- ・茶しづやガンコな汚れにも強い。
- ハイウォッシュA
N-HS80A
(商品番号 403804050251)

アフターサービスについて

※お客様ご自身で修理されたり、手を加えたりすると危険です。絶対にしないでください。

保証書について

- この食器洗い乾燥機には保証書がついています。
保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をよくお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 当社は食器洗い乾燥機の修理用性能部品を製造打ち切り後10年保有しています。
但し、保有期間経過後であっても修理用性能部品の在庫がある場合は、有償修理いたします。
- 修理用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 保証期間は、お買い上げの日から1年です。
くわしくは保証書をご覧ください。

外国での保証は

- この商品を使用出来るのは、日本国内のみで、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
- This appliance is designed for domestic use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

転居されるとき

- 取り付け、取りはずしのときはお買い上げの販売店またはもよりの大坂ガスにご相談ください。
- 電源周波数(50Hz)異なる地区へ転居されても50-60Hz共用ですので部品の取り換えは不要です。
- 本体を移動する前に、本体底面の水抜きキャップを外し、残水処理を行ってください。

愛情点検 長年ご使用の食器洗い乾燥機の点検を！



このような症状はありませんか
*水もれがあります。 *こげくさい臭いがしたり、運転中に異常な音や振動があります。 *食器洗い乾燥機にさわるとヒリヒリ電気を感じる。 *機材付けが難いなど葛葛ラしている。 *その他の異常や障害がある。

このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご相談ください。

その他